

AIWFF2011 ニュースレター

9月11日

日曜日

あいち男女共同参画財団

企画協働課内

電話 (052)962-2520

http://www.aiwff.com

TOYOTA

株式会社 スズケン

スギ薬局
SUGI PHARMACY CO., LTD.

サンゲツ
SANGETSU

株式会社 コングレ

岡谷源視株式会社

名古屋大須
アメ横ビル

愛知県国民健康保険協会連合会
HEALTH INSURANCE ASSOCIATION

観客賞 「沈黙の春を生きて」 に決定!!

愛知県興行協会賞 「テンバ 希望の少年」

9月10日(土)、午後6時15分からウイルホールで映画鑑賞者の投票による観客賞、愛知県興行協会賞受賞作品の発表、授与式が行われました。

エントリー13作品から選ばれた観客賞受賞作は、坂田雅子監督の「沈黙の春を生きて」、そして愛知県興行協会賞は、ステファニー・シチョルト監督の「テンバ 希望の少年」に決定。

授賞式では、受賞対象13作品から7作品の監督8人が出席。司会からエントリー作品の各監督

の紹介の後、受賞作の発表に移りました。まず最初に愛知県興行協会理事長の堀部俊仁さんが壇上に登場、興行協会賞の受賞作品を発表。残念ながら受賞作のステファニー・シチョルト監督は来場していないため、代わって「テンバ希望の少年」上映後のゲストトークのゲストとして来場している南アフリカ共和国大使館 政治部参事官のグローリア・クワナさんが受領し、感謝の述べた。

続いて今年、もっとも観客

評価の高かった作品に贈られる観客賞が映画祭運営委員の野上照代さんから発表されると、会場から歓声と拍手が広がり、ステージに受賞した坂田監督が登場、賞状と副賞が授与された。監督から「光栄です。映画に登場した被害者や映画に魂



野上照代委員(左)から坂田監督に賞状授与

を与えてくれた出演者に喜びを伝えたい。」と謝辞を述べると会場から一段と大きな拍手が送られました。



観客賞 「沈黙の春を生きて」



愛知県興行協会賞 「テンバ 希望の少年」

ゲストトーク

「テンバ 希望の少年」
(於:北名古屋市文化勤労会館)
グローリア・クワナ
南アフリカ共和国大使館
政治部参事官

オープニングアトラクションとして、NGOアフリジャンによるアフリカ太鼓の演奏で始まった。その力強いリズムに観客も手拍子で応え、また南アフリカの応援歌を会場全体で歌った。映画上映後、南アフリカ共和国大使館参事官のグローリア・クワナ氏と名古屋で歌手や講師としても活躍するプリスカ・モロツイ氏によるゲストトークが行われた。二人は「こういう映画が製作されることは自国の問題を見直し、考えるいい機会となる。また、今回のように南アフリカの映画が日本で上映されることによって日本人が少しでも南アフリカのことを知り、訪れていただきたい。そしてぜひその美しい景観

や動物たち、そして何より戦争やアパルトヘイトなど様々な問題を乗り越えて多数の民族が繋がった「レインボーネーション」と呼ばれる美しい人々を見て欲しい」と呼びかけた。

「牛と一緒に7泊8日」
イム・スルレ監督



上映終了後、イム・スルレ監督が登場。体重800kgの牛を連れた約2ヶ月のロケについて語った。「牛を連れたのロケは大変だったのでは?」という質問に対し、「想像していたより楽でした。今回ハンス役(牛)に抜擢された子は、今までに何

回も映画やドラマに出演経験があるベテラン俳優です。自分でトラックにも上り下りしてくれて助かりました」と答え会場を沸かせた。その後、今後の活動について、「今回は大衆向けではなく、私がどうしても撮りたいと思った作品でした。現在製作中の次回作は、商業映画です。でより多くの方に楽しんでいただけたものになると思います。また、次回作では日本の有名な小説を原作にしています。期待していて下さい」と明かした。現在はそれに並行して、今回上映作品の日本公開にむけて活動中であるとも語った。今後の活躍に期待が高まります。

「沈黙の春を生きて」
坂田雅子監督

枯葉剤の影響について監督は「1980年以降、枯葉剤の影響はメディアに取り上げられていないが、2004年ベトナムを訪問、各地に多くの問題を抱える被害



者の実情を知った。」と述べ、「その枯葉剤の影響と思われる病気で夫を亡くしたことがきっかけで映画を撮り始めた。」と説明。「夫の死を機に枯葉剤について調べていくうちに、その問題の根の深さに気付いた。」と振り返った。レイチェル・カーソンが『沈黙の春』で50年前に化学剤の影響に対する警告を発したにもかかわらず、未だに被害があらゆる場所に残っている。「50年前の人々は50年後の被害が分かっていた。私たちが50年後の影響のために、目を開けていかなければならない。」と語った。昨年一年間ベトナムに住み、枯葉剤被害者との交流を深めた監督は、

被害者への奨学金制度を設立し、支援を続けている。監督は、「直面したくないことでも現実を見つめて、できる限りのことをすべきだ。私たちが地球にいる意味を見出し、人間同士の繋がりを大切に、自然に対して謙虚でいなければならぬ。」と結ぶと会場に大きな拍手が広がった。

ワークショップ

ドキュメンタリー作品の製作と発表

未来の映像作家たちが震災ドキュメンタリーを製作、7日から上映している。名古屋学芸大学TVゼミと名古屋ビジュアルアーツの2校が参加。名古屋学芸大学は「あなたへ」と題し、福島から愛知に避難し新たな生活を始めた大沼さん一家に密着、現状をまとめた。映画を見終わった一人は「学生さんが作った作品

のできに感動した。こういう映画を通じて、私たちが震災を身近に感じた。若い人たちが映像を残したりしてどんどんメッセージを伝えて欲しいと思った。」とコメント。映画を見終わった当の大沼さんは、「震災で大変な体験もしたが、愛知に来て多くの出会いと、人の温かさを感じることができた。震災は悪いことばかりでなかった。」と心境を述べた。制作した学生は「初めは自分たちに出来るかと不安があったが、辛い経験を経たにもかかわらず、家族と一緒に生活している様子に励まされた。現状をぜひ多くの人にも知って欲しいと思う。」と作品への想いを語っていた。

会場の皆さんの

声・声・声

大島幸江さん(丹羽郡)
映画祭には6回以上来ている。ここでは普通の

愛知県共済 生活協同組合
ライフ共済 火災共済

生活衛生同業組合
愛知県興行協会

芸術文化振興基金助成事業 M (社)企業メセナ協議会認定

財団法人 東海テレビ国際基金

情報ライブラリーセミナー参加者募集中

無料

不安を解消! 親の介護、自分の老後

～事前に知っておきたい、
仕事と介護の両立の「戦略」～

平成23年 10月16日(日)13:30~15:30

講師 太田差恵子さん(介護・暮らしジャーナリスト)

※詳しくは、ちらしやウィルあいちホームページをご覧ください
<問い合わせ先>愛知県女性総合センター指定管理者コングレ・愛知グループ
ウィルあいち情報ライブラリー 電話052-962-2510

リフレッシュ エクササイズ教室

～いい汗かいて、毎日を健やかに～

★ソフトエアロビクス教室 料金2,800円/4回分
★こども教室 <4歳~小学2年生> 料金2,500円/4回分
★中高年教室 <女性> 料金2,800円/4回分

場所 ウィルあいちフィットネススタジオ

<問い合わせ先>

(財)あいち男女共同参画財団総務課(フィットネス担当)
電話052-962-2505